

恵庭市長定例記者会見 (R3. 10. 15)

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

また、日ごろから市の行事などについて、広く市民に周知していただき、ありがとうございます。

第3回定例会が終了しましたので、今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、追加議案1件を含む20件の議案について審議いただきました。

その主なものといたしまして、「令和3年度一般会計補正予算」などがありましたが、その全ての議案についてご承認いただきましたこと加えて、令和2年度各会計決算を認定頂きましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

まずは、「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種」についてであります。

本事業については、本年5月より65歳以上の高齢者へのワクチン接種を順次実施し、7月末で完了の目途がついたことから、続けて65歳未満のワクチン接種を年齢階層順で実施してきたところであります。

10月13日現在の接種対象者の接種率につきましては、1回目が77.3パーセント、2回目が66.4パーセントの方がワクチン接種を完了しております。

そして、10月11日より12歳から15歳の方への予約受付を開始したところであり、これですべての年齢層の接種予約の体制が完了したこととなり、希望する方に対しては11月を目途に2回までのワクチン接種について完了する見込みとなっております。

また、ワクチンの3回目の追加接種であります。厚生労働省のワクチン分科会で、方向性が示されましたが、詳細については、現在まだ明らかになっておりませんので、具体的内容が示されましたら、医師会と調整を行いながら、実施計画の内容を示したいと考えております。



次に、「新型コロナウイルス感染症に係る経済対策」についてであります。

はじめに、北海道の支援策についてであります。本市は特定措置区域及び経過区域に指定され、5月、6月の緊急事態宣言、6月から8月のまん延防止措置、8月から9月30日までの緊急事態宣言が発出により、休業要請や時短要請に応じた企業等に対して売上高に応じて協力支援金を順次、支払いを実施しております。

今年度を実施しております恵庭市小規模事業者事業継続支援金につきましては、市独自の支援であり、道の協力支援金を受給していない事業者に対し、20万円の支援金を支給しているところです。10月8日現在で、455件、9,100万円を支給しております。

さらには、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ市内経済の循環・回復を目的として、「えにわ商品券 えにわんチケットプレミアム」事業を実施しているところです。

8月1日から8月末までの1次販売では7万71冊を販売できる体制としましたが、46.2%にあたる3万2,374冊購入いただきました。2次販売の購入希望冊数は、2万8,621冊で10月29日まで郵便局で商品券の引き換えを行っているところです。1次販売と2次販売を合計しますと6万995冊となり、約87%が購入いただける予定となっております。

また、商品券の残冊数は約9,000冊と2次販売の残冊数につきましては、現在、3次販売を実施しているところであり、往復はがきによる申し込みで10月末まで受け付けているところです。

2点目は、「(仮称) おくやみ窓口設置について」であります。

窓口設置の目的でございますが、親族が亡くなった際の手続きは、各種保険や年金の変更手続き、市税・料金の取扱いなど多岐にわたり、遺族にとっては負担が大きくなっております。

こうしたことから、遺族の負担をできる限り軽減するため、各種手続きをワンストップで行える「(仮称) おくやみ窓口」の設置に向けて、現在、検討を行っているところでございます。

窓口設置による効果としては、窓口間の移動が不要になることや記載事項が軽減されることに加え、申請漏れや書類不備の防止など、遺族の物理的・心理的負担の軽減につながると考えています。今後、庁内の窓口関係所管で構成する「窓口推進サービス会議」において、検討を進めるとともに、関係する部署・機関と連携しながら、具体的な手続きの取扱いや運用方法について、年内に取りまとめ、来年1月を目途に試行運用し、令和4年4月からの本格運用を予定しているところでございます。

3点目は、「エニマルシェ賑わい創出事業」についてであります。

緊急事態宣言解除後の10月1日に「エニマルシェ」として、旧「えきまちプラザ」にオープンしたところです。1日は約200人の市民の方などが来店し、お店の売りであるジェラートや、特産品を購入していただいているところでございます。恵庭駅を利用する方々ばかりでなく多くの市民にご利用いただきますようお願いいたします。今後も事業を行っている恵庭駅通商店街振興組合と連携しながら利用促進を図っていきたいと考えております。

4点目は、「恵庭消防におけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進について」であります。

現在、各自治体では、デジタル技術を活用した「住民サービスの向上」「行政内部事務の業務効率化」を推進することが求められております。恵庭消防では、令和2年6月から管理職を中心に自治体専用ビジネスチャットツール「LoGo（ロゴ）チャット」の試行利用を始め、令和3年8月から全職員へアカウントを付与し、消防全体に運用を広げ、「行政内部事務の業務効率化」を推進するためのツールとして活用しております。

LoGo（ロゴ）チャットは、パソコン端末だけでなく、個人が所有するスマートフォン等でもセキュリティを確保した上で、安心・安全に利用することが可能です。

現場活動が中心となる隔日勤務の職場では、情報の共有と伝達の遅さが課題となっていました。が、休暇等の職員も通常業務で活用する庁内Eネット端末と同じ情報を共有できるため、情報共有のスピードが大きく改善されました。

消防全体でデジタル化を進めることにより、「情報共有効率化」「意思決定のスピード向上」が実現でき、業務の進め方や組織風土の変革にも良い影響があらわれております。

以上で、私からの発表は終わらせていただきます。

引き続き、教育長及び選挙管理委員会事務局からの発表があります。

教育長から発表

私からは、「GIGAスクール構想による児童生徒用タブレットパソコンの活用について」説明いたします。

令和2年度に、小中学校全児童生徒数の約3分の2のタブレットパソコン3,888台を整備しましたが、本年8月に全校のネットワーク環境整備が完了し、準備が整った学校から順次、タブレットパソコンを活用して授業を行っております。

1. 令和3年度は、「学校内ネットワーク環境整備工事」「学校内ネットワーク機器設置及び設定」を行いました。
2. 児童生徒用タブレットパソコンの活用状況につきましては、学校内での授業で活用しているほか、登校できない児童生徒に貸し出すなど、家庭に持ち帰って

活用する取り組みも進めております。

また、紙の教科書がデジタル化された「学習者用デジタル教科書」を、タブレットパソコンを使用して授業を行う国の実証事業に、恵庭市では5校が参加しております。

実施校・学年・教科につきましては、記載のとおりであります。

なお、重点校の松恵小学校及び恵み野小学校には、全学年で実証事業を行うことから、全児童分のタブレットパソコンを配置しております。以上であります。

選挙管理委員会事務局長から発表

私からは、「商業施設における期日前投票所の開設等について」であります。

これまでは恵み野駅前にありましたイトーヨーカドー内に開設しておりましたが、2019年の閉店に伴い、開設場所について検討してきたところであります。当初は同所に新たな事業者が現れることも予想され、その際は引き続き同じ場所で開設できると考えておりましたが、一定期間経過後も新たな事業者が入居する目途が立たないことから、別の商業施設で開設すべく検討を進めた結果、この度、恵み野里美にありますショッピングモール「フレスポ恵み野」の施設内において開設することが決まったところであります。

これまでと同様、市内4箇所での開設となりますが、「フレスポ恵み野」は大規模なショッピングモールということで、これまで以上に多くの利用者があるものと思われ、市民の皆様の利便性や投票機会のより一層の向上に加えて、投票率アップにもつながるものと期待しております。

●質疑応答

発表項目について

(記者) ワクチンの2回目までの接種率についての所感は？

(市長) 全国平均と同じくらい、全道よりは高いと認識しており、比較的、順調に接種して頂いています。若い人たちの接種率について心配していたが、進んでおり、安心しています。

(記者) 3回目の接種について、国は12月から接種できる体制を求めているが市長の考えは？

(市長) 先月22日付けで国から3回目接種の体制確保について文書が出ています。

その文書では、「追加接種は早ければ令和3年12月から開始することを想定している」、「接種対象者は現時点では決まっておらず、今後示されることとなっているが、2回目接種後からおおむね8か月程度経っている方に追加接種一回を予定」、「ワクチンの種類についても科学的知見を元に追って通知」とあります。これらのことから、現時点では想定での準備しかできない状況です。市内では医療従事者が一番早い接種で4月に接種しています。それを考えると一番早い人でも12

月ということにはならないのではないかと考えています。国からの方針が示された後に体制を整え、方針を決定する予定です。

(記者) 3回目の必要性の認識は？

(市長) 国からも必要性が示されており、無料となっています。国に協力していきたいと考えています。

(記者) GIGAスクール構想のタブレットパソコンの関係について、東京都町田市のいじめの問題で支給されていたタブレットが使われていたということが報道されていた。町田市の例ではチャット機能で悪口などが書かれていた。市内で活用していく中で使う際のルール付けなど設けられているか？

(教育長) タブレットパソコンについての利用基準は設定しています。恵庭市ではチャット機能は設けていませんので、そういったことはないと思います。

(記者) おくやみ窓口について、検討状況は？

(生活環境部長) 実施に向けての調整を窓口推進会議で検討中です。検討の内容としては、様式の統一や窓口をお客様に回って頂く巡回型にするのか、職員が何う派遣型にするのかといったことを検討しています。それらを踏まえて運用方針を決定していく予定です。

(市長) 現在は、窓口を統一していないので、別の窓口で何度も住所や氏名を書いてもらうなどの手間がかかっています。それらを減らすことができればとの思いからの取り組みです。しかし、各部署では定められている様式があり、変更を要するため一定の時間を要するという事です。

その他

(記者) 国勢調査の結果で、恵庭市の人口が増えている。また、地価調査で恵庭市の商業が上昇している。その要因や背景をどのように分析されているか、市に対する期待できる点など。

(市長) 僅かではありますが、人口が増え恵庭市に注目して頂いていることに対して嬉しく思っています。また、地価についても上昇しているということは嬉しく感じています。要因としては、交通の便が良いということが一番だと考えています。新千歳空港、北広島市のボールパーク構想、札幌市の地価の上昇により若い世代が郊外で家を持ちたいなどコロナの要因もあり、家での時間が長くなることにより需要が高まっていると感じています。また、中古住宅についてもリニューアルして住むような動きも活発になっているとお聞きしています。交通の利便性だけでなく、素晴らしい農業、おいしい食べ物、豊かな自然など魅力がたくさんあるので、恵庭市を選んで頂いていると思っています。これからもさらなるアピールをしていきたいと考えています。この機を逃すことなく伸ばしていきたいと思っています。

(記者) 来年6月に全国都市緑化北海道フェアが控えているが、コロナもあり、なかなか周知が進まない。どのように周知してきたか、また、残された期間のなかでどのような部分に力を入れていきたいか？

(市長) 任期も11月26日までとなっているので先のことはお話できませんが、やはり、これまでの周知はコロナの関係で予定していた札幌のチカホでの宣伝などの周知活動ができず、市民の皆さんの認知も深まっていないと感じています。まちぐるみでイベントを進め、お客さんを迎えるという機運を高めたいと考えています。年内に補正で予算を組み、市民に対するPRの形を作っていきたいと考えています。市民の方にも知ってもらうとともに、学校を通して児童生徒にも知ってもらい、楽しみにして頂き、オール恵庭で進めていきたいと思っています。後任の方にもそうしていただきたいと思っています。

(記者) 衆議院が解散、総選挙となった。市長として国政に期待することは？

(市長) まずはコロナ対策が一番です。今は落ち着いていますが、市内も大変な状況でした。一時期は感染者が1日何十人という、医療もひっ迫し自宅療養となっている人もいました。ワクチン対策など感染対策をしっかりと行って欲しいと考えています。経済的に厳しい飲食店や関連業種に対して、市でも独自に支援を行いますが、十分でない部分があるので、そういった支援施策も即座に実施して欲しいと思っています。全国都市緑化北海道フェアも入場制限などがない中でたくさんの方に来て頂きたいと考えているので、まずはコロナ対策をしっかりとお願いしたいと考えます。コロナ対策以外では、自衛隊の体制維持、農業基盤整備などでこれから要望する地区もあることから、そういった部分などもしっかりやっていただきたいと思います。

(記者) 市長は応援演説などすることは？

(市長) 誰を応援するということは表明しようと思っていません。恵庭市としてお世話になったと感じている人に対して政治家としての支援は要請があればしたい。

(記者) 街頭に立って応援することは？

(市長) 要請がないので決めていません。